

平成12年

社会医療診療行為別調査の概況

(平成12年6月審査分)

	目	次	
調査の概要		1頁
結果の概要			
I 医科診療分			
1 診療行為の状況		4
2 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況		6
3 病院と診療所にみた診療行為の状況		8
4 傷病分類別にみた状況		10
5 薬剤の比率の状況		12
6 院外処方率の状況		13
II 歯科診療分			
1 診療行為の状況		14
2 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況		15
3 傷病分類別にみた状況		16
統計表			
(医科診療分)			
第1表 件数・診療実日数, 入院－入院外・一般医療－老人医療別		17
第2表 診療行為別点数, 入院－入院外・一般医療－老人医療別		17
第3表 件数・診療実日数, 病院－診療所(有床)・一般医療－老人医療別(入院)		18
第4表 診療行為別点数, 病院－診療所(有床)・一般医療－老人医療別(入院)		18
第5表 件数・診療実日数, 病院－診療所・一般医療－老人医療別(入院外)		19
第6表 診療行為別点数, 病院－診療所・一般医療－老人医療別(入院外)		19
第7表 診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数の年次推移(入院)		20
第8表 診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数の年次推移(入院外)		20
第9表 薬剤の比率の年次推移, 入院－入院外別		21
第10表 院外処方率の年次推移, 病院－診療所別		21
(歯科診療分)			
第11表 件数・診療実日数, 一般医療－老人医療別		22
第12表 診療行為別点数, 一般医療－老人医療別		22
第13表 診療行為別1件当たり点数・1日当たり点数の年次推移		22

厚生労働省大臣官房統計情報部

担当係 社会統計課社会医療統計第一係

TEL (03) 5253-1111 内線7559

厚生労働省ホームページ(URL) <http://www.mhlw.go.jp/>

調査の概要

1 調査の目的

この調査は、政府管掌健康保険（以下「政管健保」という。）、組合管掌健康保険（以下「組合健保」という。）及び国民健康保険（以下「国保」という。）における医療の給付の受給者にかかる診療行為の内容及び傷病の状況等を明らかにし、医療保険行政に必要な基礎資料を得ることを目的とした。

2 調査の対象及び客体

各都道府県の社会保険診療報酬支払基金支部（以下「支払基金支部」という。）及び国民健康保険団体連合会（以下「国保団体連合会」という。）において、審査決定された政管健保、組合健保及び国保の一般医療及び老人医療の医科診療及び歯科診療の診療報酬明細書（以下「明細書」という。）を調査の対象とした。

調査の客体は、第1次抽出単位を保険医療機関とし、第2次抽出単位を明細書とする層化無作為二段抽出法により抽出された明細書とした。

	施設数	明細書枚数		
		総数	一般医療	老人医療
医科	8 914	380 799	214 931	165 868
病院	1 495	159 181	87 834	71 347
診療所	7 419	221 618	127 097	94 521
歯科	821	21 609	12 518	9 091

注：歯科には病院併設歯科を含む。

3 調査の期間

平成12年6月審査分

4 調査の事項

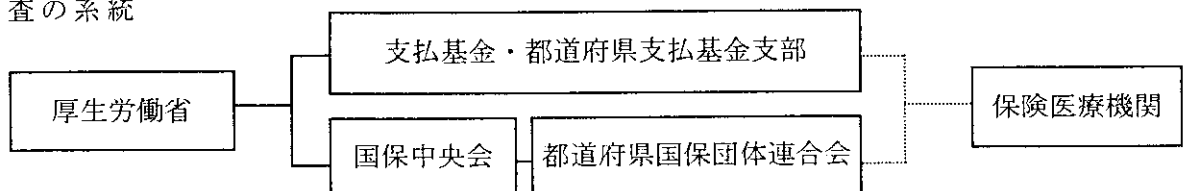
明細書に記載されている事項のうち、年齢、傷病名、診療実日数、診療行為別点数等

5 調査の方法及び系統

(1) 調査の方法

支払基金支部及び国保団体連合会が、調査の対象となった保険医療機関の明細書から別に定める抽出率により抽出を行い、その写しを厚生労働省大臣官房統計情報部に提出する方法により行った。

(2) 調査の系統



6 結果の集計

集計は、厚生労働省大臣官房統計情報部で行った。

7 利用上の注意

- (1) この概況に掲載の数値は、政管健保、組合健保及び国保における平成12年6月審査分の全国推計数である。
- (2) 総数に入院時食事療養は含まないが、参考として「総数」に「入院時食事療養」を点数換算したものを加え、「総数+入院時食事療養÷10」と表章した。
- (3) 薬剤の比率については、次の診療行為が出現する明細書は集計から除外してある。
 入院－「処方せん料」「老人特定入院基本料」「療養病棟入院基本料」「老人病棟入院基本料」「有床診療所療養病棟入院基本料」「特殊疾患入院医療管理料」「回復期リハビリテーション病棟入院料」「特殊疾患療養病棟入院料」「緩和ケア病棟入院料」「精神科急性期治療病棟入院料」「精神療養病棟入院料」「老人一般病棟入院医療管理料」「老人性痴呆疾患治療病棟入院料」「老人性痴呆疾患療養病棟入院料」「診療所老人医療管理料」
 入院外－「処方せん料」「老人慢性疾患外来総合診療料」「小児科外来診療料」「運動療法指導管理料」「寝たきり老人在宅総合診療料」「在宅末期医療総合診療料」
 なお、薬剤の比率においては、入院時食事療養は費用額算定を点数換算して集計を行った。
- (4) 傷病名について、明細書に複数記載されている場合は、診療内容を見て選択した。
- (5) 傷病分類については、ICD（国際疾病分類）－10を準用した。
- (6) 年齢階級の「70～79歳」には、「65～69歳」で老人保健法の適用を受ける者を含めている。
- (7) 掲載の数値は、四捨五入等のため、内訳の合計が総数に合わない場合がある。
- (8) 表章記号の規約

計数のない場合	－	数値が最小単位に満たない場合	0.0
統計項目のありえない場合	・	負数の場合	△

- (9) 診療報酬点数表及び薬価基準改定の状況

改定年月	診療報酬の改定率(%)	改定年月	薬価基準の改定率(%)	
			薬価ベース	医療費ベース
平成12.4	医科 2.0 , 歯科 2.0 (歯科用貴金属の国際価格変動対応分 + 0.5) 調剤 0.8 , 平均 1.9	平成12.4	△ 7.0	△ 1.6

8 用語の定義

- (1) 一般医療 : 0歳から69歳までの者(65歳以上で老人保健法の適用を受ける者を除く。)が疾病又は負傷に関して、保険医療機関において受けた療養の給付をいう。
- (2) 老人医療 : 老人保健法の適用を受ける者が疾病又は負傷に関して、保険医療機関において受けた医療の給付をいう。
- (3) 件数 : 明細書1枚を1件という。
- (4) 診療実日数(日数) : 入院では当月中の入院日数をいい、入院外では当月中の外来、往診等で医師の診療を受けた日数をいう。
- (5) 点数 : 支払基金支部及び国保団体連合会において審査決定された診療報酬点数をいう。
- (6) 薬剤の比率 :
- 全薬剤比率 — 総点数に占める「投薬」「注射」及びその他の診療行為の中の薬剤点数の割合
- 薬剤比率 — 総点数に占める「投薬」及び「注射」の中の薬剤点数の割合
- その他薬剤比率 — 総点数に占める「在宅医療」「検査」「画像診断」「リハビリテーション」「精神科専門療法」「処置」「手術」及び「麻酔」の中の薬剤点数の割合
- (7) 病院 :
- 精神病院 — 精神病床のみを有する病院。ただし、特例許可老人病院を除く。
- 結核療養所 — 結核病床のみを有する病院
- 特定機能病院 — 高度の医療の提供、高度の医療技術の開発及び評価並びに高度の医療に関する研修を実施する能力を備え、かかる病院として人員配置、構造設備等を有すると厚生大臣の承認を受けた病院
- 療養型病床群を持つ病院 — 病院の一般病床のうち一群のものであって、主として長期にわたり療養を必要とする患者を収容するための病床を有する病院
- 特例許可老人病院 — 主として老人慢性疾患患者を収容する病室を有する病院として医療法に基づく都道府県知事の許可を受けた病院。
- 特例許可老人病院以外の老人病院 — 特例許可老人病院以外の病院であって、65歳以上の収容比率が60%以上の病院(又は病棟を有する病院)。ただし、医療法標準の人員配置を有している病院、外科系単科小規模病院、地域中核病院等は除く。
- 一般病院 — 上記以外の病院

結果の概要

I 医科診療分

1 診療行為の状況

(1) 入院における1件当たり点数は33,608.3点、1日当たり点数は2,018.3点、1件当たり日数は16.65日である。

1日当たり点数を診療行為別にみると、「入院」1,205.4点（構成割合59.7%）が最も高く、次いで「手術」236.8点（11.7%）、「注射」155.2点（7.7%）の順となっている。

（表1、図1）

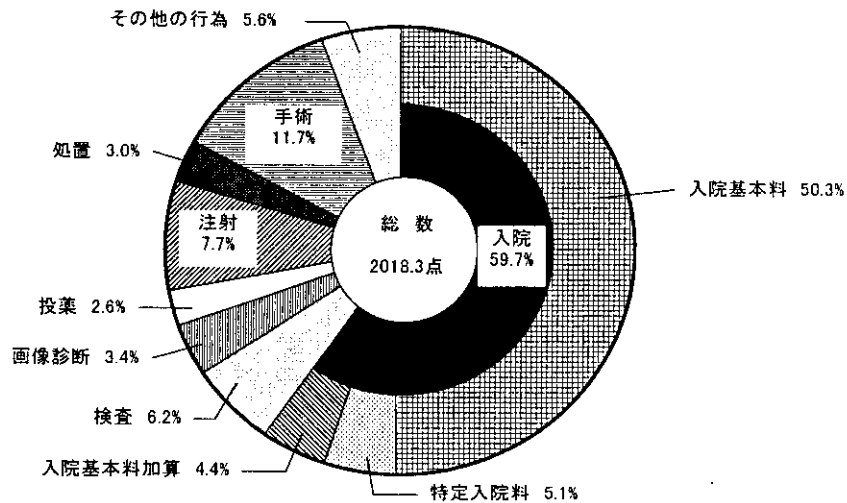
表1 入院の診療行為別1件当たり点数、1日当たり点数、1件当たり日数

（各年6月審査分）

診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成12年	平成11年	対前年比		平成12年	平成11年	対前年比	
			増加点数	増加率(%)			増加点数	増加率(%)
総数	33 608.3	31 881.7	1 726.6	5.4	2 018.3	1 833.6	184.7	10.1
初診・再診	48.8	44.5	4.3	9.6	2.9	2.6	0.4	14.4
指導管理等	306.4	267.2	39.2	14.7	18.4	15.4	3.0	19.7
在宅医療	56.9	50.6	6.4	12.6	3.4	2.9	0.5	17.6
検査	2 097.9	2 048.9	49.0	2.4	126.0	117.8	8.1	6.9
画像診断	1 141.7	1 048.4	93.3	8.9	68.6	60.3	8.3	13.7
投薬	875.0	917.8	△ 42.8	△ 4.7	52.5	52.8	△ 0.2	△ 0.5
注射	2 583.7	2 519.3	64.4	2.6	155.2	144.9	10.3	7.1
リハビリテーション	641.6	559.9	81.7	14.6	38.5	32.2	6.3	19.7
精神科専門療法	136.3	128.8	7.5	5.9	8.2	7.4	0.8	10.5
処置	1 019.8	974.3	45.4	4.7	61.2	56.0	5.2	9.3
手術	3 942.7	3 129.6	813.1	26.0	236.8	180.0	56.8	31.5
麻酔	601.1	491.2	109.9	22.4	36.1	28.3	7.8	27.8
放射線治療	85.4	137.0	△ 51.6	△ 37.6	5.1	7.9	△ 2.7	△ 34.9
入院 (1件当たり日数)	20 071.5 (16.65)	19 563.7 (17.39)	507.8	2.6	1 205.4	1 125.2	80.2	7.1
入院時食事療養(単位:円)	33 321	35 082	△ 1 761	△ 5.0	2 001	2 018	△ 17	△ 0.8
総数+入院時食事療養÷10	36 940.3	35 389.9	1 550.5	4.4	2 218.4	2 035.4	183.0	9.0

図1 入院の診療行為別1日当たり点数の構成割合

（平成12年6月審査分）



注：その他の行為は、「初診・再診」「指導管理等」「在宅医療」「リハビリテーション」「精神科専門療法」「麻酔」及び「放射線治療」である。

(2) 入院外における1件当たり点数は1,333.5点、1日当たり点数は622.0点、1件当たり日数は2.14日である。

1日当たり点数を診療行為別にみると、「投薬」161.6点（構成割合26.0%）が最も高く、次いで「初診・再診」121.9点（19.6%）、「検査」91.4点（14.7%）の順となっている。

（表2、図2）

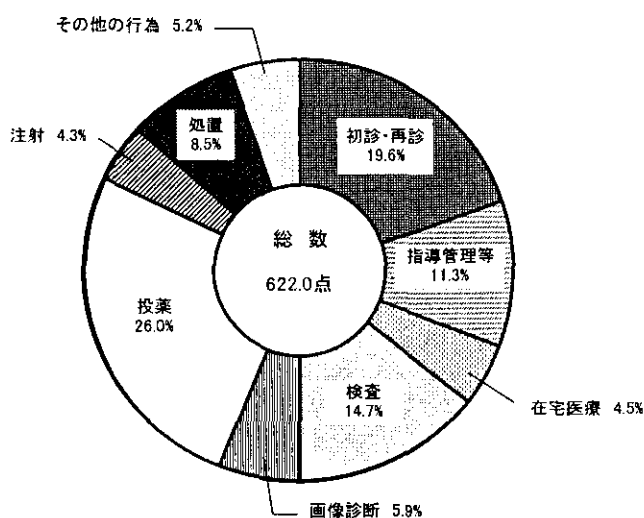
表2 入院外の診療行為別1件当たり点数、1日当たり点数、1件当たり日数

（各年6月審査分）

診療行為	1件当たり点数				1日当たり点数			
	平成12年	平成11年	対前年比		平成12年	平成11年	対前年比	
			増加点数	増加率(%)			増加点数	増加率(%)
総数	1 333.5	1 443.5	△ 110.0	△ 7.6	622.0	668.7	△ 46.7	△ 7.0
初診・再診	261.4	257.9	3.5	1.3	121.9	119.5	2.4	2.0
指導管理等	150.5	155.7	△ 5.2	△ 3.3	70.2	72.1	△ 1.9	△ 2.7
在宅医療	60.6	79.5	△ 19.0	△ 23.8	28.2	36.8	△ 8.6	△ 23.3
検査	196.0	197.4	△ 1.4	△ 0.7	91.4	91.5	△ 0.0	△ 0.0
画像診断	78.8	81.4	△ 2.6	△ 3.2	36.7	37.7	△ 1.0	△ 2.6
投薬	346.5	364.3	△ 17.8	△ 4.9	161.6	168.8	△ 7.1	△ 4.2
注射	56.8	65.1	△ 8.3	△ 12.7	26.5	30.1	△ 3.6	△ 12.1
リハビリテーション	14.7	12.9	1.7	13.5	6.8	6.0	0.9	14.3
精神科専門療法	15.7	14.2	1.4	10.1	7.3	6.6	0.7	10.9
処置	113.1	177.0	△ 63.9	△ 36.1	52.8	82.0	△ 29.2	△ 35.6
手術	32.0	31.4	0.5	1.6	14.9	14.6	0.3	2.3
麻酔	5.4	5.4	△ 0.1	△ 1.5	2.5	2.5	△ 0.0	△ 0.8
放射線治療	2.2	1.0	1.1	106.4	1.0	0.5	0.5	107.8
(1件当たり日数)	(2.14)	(2.16)						

図2 入院外の診療行為別1日当たり点数の構成割合

（平成12年6月審査分）



注：その他の行為は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」及び「放射線治療」である。

2 一般医療と老人医療別にみた診療行為の状況

(1) 入院における1件当たり点数は、一般医療30,208.8点、老人医療37,799.8点となっている。

1日当たり点数は、一般医療2,094.4点、老人医療1,948.5点で、年齢階級別にみると「0～14歳」2,943.8点が最も高く、次いで「70～79歳」「15～39歳」の順となっている。診療行為別の構成割合をみると、老人医療は、一般医療と比べ「入院」「処置」の割合が大きい一方、「検査」「手術」の割合は小さい。

1件当たり日数は、一般医療14.42日、老人医療19.40日となっている。(表3、図3)

表3 入院の一般医療－老人医療・年齢階級・診療行為別1件当たり点数、1日当たり点数、1件当たり日数

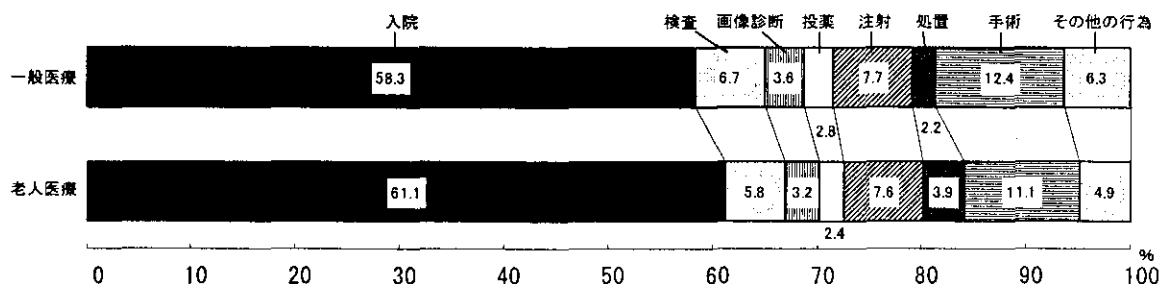
(平成12年6月審査分)

診療行為	一般医療				老人医療		
	総数	0～14歳	15～39歳	40～69歳	総数	70～79歳	80歳以上
総初指在検査	30 208.8	20 532.3	23 335.8	34 817.2	37 799.8	39 251.8	36 076.9
診察	61.0	157.1	64.7	40.5	33.8	32.8	34.9
指導	318.9	209.0	291.8	351.3	291.1	324.3	251.7
在宅医療	39.5	22.0	18.1	51.4	78.4	80.6	75.7
画像診断	2 035.8	1 686.1	1 492.9	2 317.4	2 174.4	2 565.8	1 709.9
投薬	1 074.8	449.6	665.0	1 359.1	1 224.2	1 432.3	977.2
注射	840.2	334.3	519.6	1 066.0	917.9	1 028.9	786.2
処置	2 337.6	1 404.7	1 742.6	2 755.5	2 887.0	3 000.2	2 752.7
手術	420.9	105.9	216.3	563.5	913.6	934.6	888.8
その他の行為	186.0	2.7	159.3	232.8	75.1	95.1	51.4
入院	653.8	564.1	340.3	794.1	1 471.0	1 630.5	1 281.6
再診	3 752.8	1 716.7	2 868.5	4 502.9	4 177.0	5 507.3	2 598.3
検査	769.5	978.2	751.3	735.1	393.6	552.7	204.7
投薬	100.3	12.2	49.4	137.7	67.1	94.5	34.5
注射	17 617.5	12 889.4	14 155.9	19 909.7	23 097.4	21 970.2	24 434.9
処置							
手術							
その他の行為							
総初指在検査	2 094.4	2 943.8	2 086.6	2 027.9	1 948.5	2 160.0	1 729.8
診察	4.2	22.5	5.8	2.4	1.7	1.8	1.7
指導	22.1	30.0	26.1	20.5	15.0	17.8	12.1
在宅医療	2.7	3.1	1.6	3.0	4.0	4.4	3.6
画像診断	141.1	241.7	133.5	135.0	112.1	141.2	82.0
投薬	74.5	64.5	59.5	79.2	63.1	78.8	46.9
注射	58.3	47.9	46.5	62.1	47.3	56.6	37.7
処置	162.1	201.4	155.8	160.5	148.8	165.1	132.0
手術	29.2	15.2	19.3	32.8	47.1	51.4	42.6
その他の行為	12.9	0.4	14.2	13.6	3.9	5.2	2.5
入院	45.3	80.9	30.4	46.3	75.8	89.7	61.5
再診	260.2	246.1	256.5	262.3	215.3	303.1	124.6
検査	53.3	140.2	67.2	42.8	20.3	30.4	9.8
投薬	7.0	1.8	4.4	8.0	3.5	5.2	1.7
注射	1 221.5	1 848.0	1 265.8	1 159.6	1 190.6	1 209.0	1 171.6
処置							
手術							
その他の行為							
入院時食事療養(単位:円)							
1件当たり金額	28 715	11 795	21 646	34 840	39 000	37 018	41 352
1日当たり金額	1 991	1 691	1 936	2 029	2 010	2 037	1 983
総数+入院時食事療養÷10							
1件当たり点数	33 080.3	21 711.7	25 500.4	38 301.2	41 699.8	42 953.6	40 212.0
1日当たり点数	2 293.5	3 112.9	2 280.1	2 230.8	2 149.5	2 363.7	1 928.1

注：年齢階級の「70～79歳」には、「65～69歳」で老人保健法の適用を受ける者を含めている。

図3 入院の一般医療－老人医療・診療行為別1日当たり点数の構成割合

(平成12年6月審査分)



注：その他の行為は、「初診・再診」「指導管理等」「在宅医療」「リハビリテーション」「精神科専門療法」「麻酔」及び「放射線治療」である。

(2) 入院外における1件当たり点数は、一般医療1,164.9点、老人医療1,786.1点となっている。

1日当たり点数は、一般医療602.5点、老人医療659.4点で、年齢階級別にみると「70～79歳」659.6点が最も高く、次いで「80歳以上」となっており、「0～14歳」488.7点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、老人医療は、一般医療と比べ「指導管理等」「在宅医療」の割合が大きい一方、「初診・再診」「検査」の割合は小さい。

1件当たり日数は、一般医療1.93日、老人医療2.71日となっている。(表4、図4)

表4 入院外の一般医療－老人医療・年齢階級・診療行為別1件当たり点数、1日当たり点数、1件当たり日数

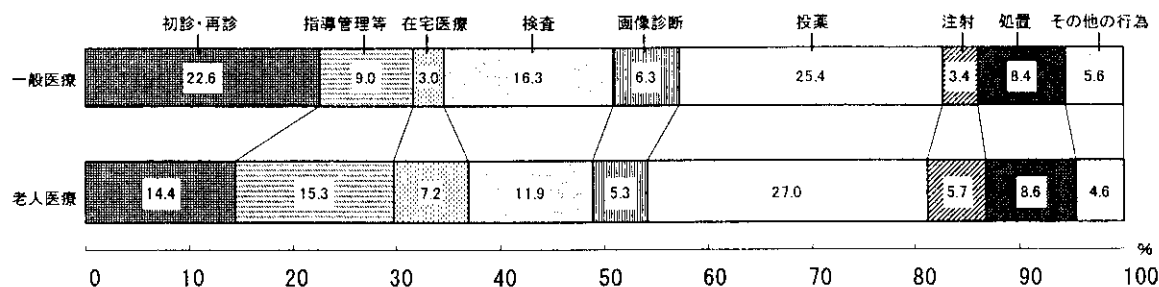
(平成12年6月審査分)

診療行為	一般医療				老人医療		
	総数	0～14歳	15～39歳	40～69歳	総数	70～79歳	80歳以上
総数	1,164.9	847.6	970.9	1,358.9	1,786.1	1,769.2	1,826.2
1件当たり点数							
初診・再診	263.1	312.1	263.8	245.6	256.9	258.6	252.7
指導等	104.6	136.8	35.8	122.8	273.9	270.4	282.2
在宅医療	35.1	44.9	20.7	37.9	128.8	81.3	241.6
検査	189.9	94.4	207.8	215.6	212.4	220.4	193.4
画像診断	73.1	28.7	68.8	90.5	93.8	98.9	81.8
投薬	296.1	158.1	212.1	380.2	482.0	476.5	495.1
注射	40.0	7.7	35.2	53.4	101.8	97.8	111.2
処置	9.8	5.2	4.6	13.7	27.7	29.3	23.8
その他の行為	18.3	1.3	32.1	18.3	8.6	8.8	8.0
リハビリテーション	98.1	33.7	55.8	138.7	153.6	180.5	89.7
精神科専門療法	31.6	24.6	31.0	34.4	32.8	32.0	34.7
手術	3.2	0.1	2.2	4.7	11.1	11.2	11.1
麻酔	1.9	-	0.9	3.0	2.7	3.4	1.1
1日当たり点数							
総数	602.5	488.7	575.9	644.3	659.4	659.6	658.8
初診・再診	136.1	179.9	156.5	116.5	94.8	96.4	91.1
指導等	54.1	78.8	21.3	58.2	101.1	100.8	101.8
在宅医療	18.2	25.9	12.3	18.0	47.6	30.3	87.2
検査	98.2	54.4	123.2	102.2	78.4	82.2	69.8
画像診断	37.8	16.5	40.8	42.9	34.6	36.9	29.5
投薬	153.1	91.1	125.8	180.3	177.9	177.7	178.6
注射	20.7	4.5	20.9	25.3	37.6	36.5	40.1
処置	5.1	3.0	2.7	6.5	10.2	10.9	8.6
その他の行為	9.5	0.7	19.0	8.7	3.2	3.3	2.9
リハビリテーション	50.7	19.4	33.1	65.8	56.7	67.3	32.4
精神科専門療法	16.4	14.2	18.4	16.3	12.1	11.9	12.5
手術	1.7	0.1	1.3	2.2	4.1	4.2	4.0
麻酔	1.0	-	0.6	1.4	1.0	1.3	0.4
1件当たり日数							
総数	1.93	1.73	1.69	2.11	2.71	2.68	2.77

注：年齢階級の「70～79歳」には、「65～69歳」で老人保健法の適用を受ける者を含めている。

図4 入院外の一般医療－老人医療・診療行為別1日当たり点数の構成割合

(平成12年6月審査分)



注：その他の行為は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」及び「放射線治療」である。

3 病院と診療所別にみた診療行為の状況

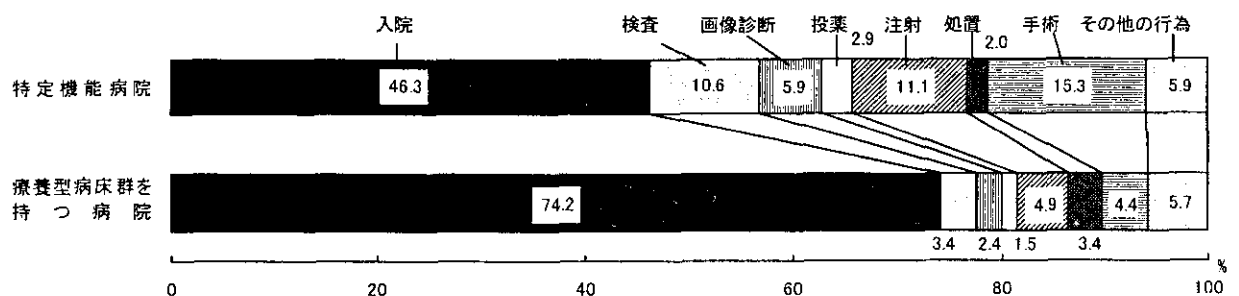
- (1) 入院における1件当たり点数は、病院35,136.1点、診療所(有床)15,582.8点となっている。
 1日当たり点数は、病院2,062.0点、診療所(有床)1,290.9点で、病院について種類別にみると「特定機能病院」3,315.1点が最も高く、次いで「一般病院」となっており、「特例許可老人病院以外の老人病院」731.0点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、「療養型病床群を持つ病院」は、「特定機能病院」と比べ「入院」の割合が大きくなっている。
 1件当たり日数は、病院17.04日、診療所(有床)12.07日となっている。(表5、図5)

表5 入院の病院—診療所(有床)・診療行為別1件当たり点数、1日当たり点数、1件当たり日数

診療行為	病院							診療所(有床)
	総数	精神病院	特定機能病院	療養型病床群を持つ病院	特例許可老人病院	特例許可老人病院以外の老人病院	一般病院	
	1 件 当 た り 点 数							
総初診・再診	35 136.1	27 348.6	46 525.3	34 478.8	32 457.1	20 132.8	35 809.8	15 582.8
指導管理	49.7	7.9	36.0	36.3	23.9	3.6	63.6	38.1
在宅医療	323.4	168.5	279.1	289.1	258.5	33.7	367.7	106.3
検査	60.7	0.1	65.1	35.7	9.9	-	81.1	13.0
画像診断	2 198.3	563.6	4 923.8	1 169.2	831.2	120.6	2 634.3	912.8
投薬	1 211.1	101.4	2 724.4	824.0	627.9	106.8	1 419.6	322.6
注射	903.3	1 304.1	1 349.9	523.0	398.9	505.6	944.1	540.8
処置	2 702.0	209.6	5 142.9	1 693.2	1 025.8	71.6	3 317.6	1 187.1
手術	674.7	75.4	308.6	1 317.3	889.8	101.0	593.6	250.7
その他の行為	147.2	954.0	47.1	85.5	99.0	45.6	42.3	7.7
精神科専門療法	1 017.1	304.5	943.8	1 185.7	798.3	200.1	1 102.2	1 051.4
麻酔	3 997.9	2.5	7 125.0	1 525.3	1 115.5	18.2	5 333.1	3 291.8
放射線治療	624.6	0.2	1 444.9	205.3	281.2	0.6	809.0	323.7
入院	92.7	0.0	581.6	0.8	0.9	-	99.6	0.2
総入院	21 134.0	23 656.6	21 553.0	25 588.3	26 095.9	18 927.8	19 003.1	7 536.4
	1 日 当 た り 点 数							
総初診・再診	2 062.0	950.7	3 315.1	1 632.0	1 324.5	731.0	2 626.1	1 290.9
指導管理	2.9	0.3	2.6	1.7	1.0	0.1	4.7	3.2
在宅医療	19.0	5.9	19.9	13.7	10.6	1.2	27.0	8.8
検査	3.6	0.0	4.6	1.7	0.4	-	5.9	1.1
画像診断	129.0	19.6	350.8	55.3	33.9	4.4	193.2	75.6
投薬	71.1	3.5	194.1	39.0	25.6	3.9	104.1	26.7
注射	53.0	45.3	96.2	24.8	16.3	18.4	69.2	44.8
処置	158.6	7.3	366.5	80.1	41.9	2.6	243.3	98.3
手術	39.6	2.6	22.0	62.4	36.3	3.7	43.5	20.8
その他の行為	8.6	33.2	3.4	4.0	4.0	1.7	3.1	0.6
精神科専門療法	59.7	10.6	67.2	56.1	32.6	7.3	80.8	87.1
麻酔	234.6	0.1	507.7	72.2	45.5	0.7	391.1	272.7
放射線治療	36.7	0.0	103.0	9.7	11.5	0.0	59.3	26.8
入院	5.4	0.0	41.4	0.0	0.0	-	7.3	0.0
総入院	1 240.3	822.3	1 535.7	1 211.2	1 064.9	687.3	1 393.6	624.3
	1 件 当 た り 日 数							
入院	17.04	28.77	14.03	21.13	24.50	27.54	13.64	12.07
入院時食事療養(単位:円)								
1件当たり金額	34 505	60 719	26 828	44 564	51 913	49 162	26 651	19 351
1日当たり金額	2 025	2 111	1 912	2 109	2 119	1 785	1 954	1 603
総数+入院時食事療養÷10								
1件当たり点数	38 586.6	33 420.5	49 208.1	38 935.2	37 648.4	25 049.0	38 474.9	17 517.9
1日当たり点数	2 264.5	1 161.7	3 506.3	1 843.0	1 536.4	909.6	2 821.5	1 451.2

注: 病院の総数には、結核療養所を含む。

図5 入院の特定機能病院—療養型病床群を持つ病院・診療行為別1日当たり点数の構成割合 (平成12年6月審査分)



注: その他の行為は、「初診・再診」「指導管理等」「在宅医療」「リハビリテーション」「精神科専門療法」「麻酔」及び「放射線治療」である。

(2) 入院外における1件当たり点数は、病院1,506.5点、診療所1,239.5点となっている。

1日当たり点数は、病院802.6点、診療所541.6点で、病院について種類別にみると「特定機能病院」1,009.3点が最も高く、「特例許可老人病院以外の老人病院」453.7点が最も低くなっている。診療行為別の構成割合をみると、診療所は、病院と比べ「初診・再診」「指導管理等」の割合が大きい一方、「画像診断」「検査」の割合は小さい。

1件当たり日数は、病院1.88日、診療所2.29日となっている。(表6、図6)

表6 入院外の病院-診療所・診療行為別1件当たり点数、1日当たり点数、1件当たり日数

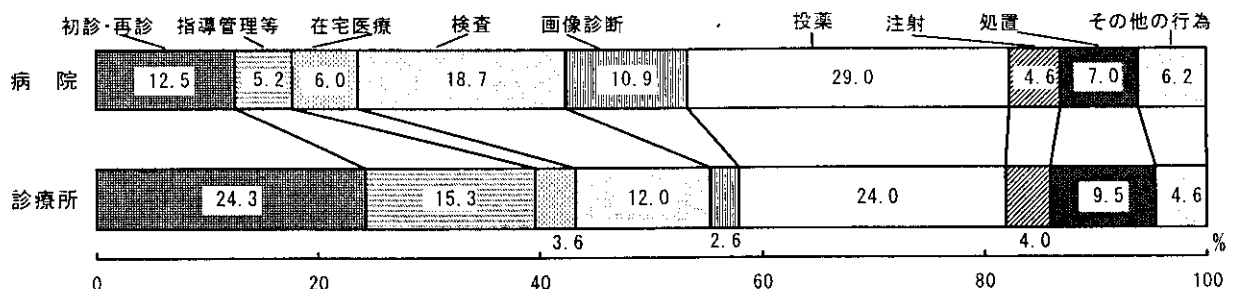
(平成12年6月審査分)

診療行為	病院								診療所
	総数	精神病院	特定機能病院	療養型病床群	特例老人病院	特例老人病院	特例老人病院	一般病院	
	1件当たり点数								
総数	1 506.5	1 543.4	1 487.6	1 624.2	1 485.3	1 170.5	1 482.1	1 239.5	
初診・再診	188.4	164.5	125.1	241.4	247.0	251.0	181.7	301.0	
指導管理等	77.9	34.8	41.4	137.4	137.3	296.0	67.8	190.0	
在宅医療	89.7	6.3	152.8	80.2	89.6	28.8	88.3	44.8	
検査	282.0	63.5	358.2	231.3	211.3	142.4	294.0	149.3	
画像診断	164.4	16.1	200.8	143.1	120.8	26.8	171.0	32.2	
投薬	436.6	634.6	395.8	459.4	427.7	265.2	430.2	297.6	
注射	69.4	17.1	82.2	77.0	73.0	44.1	68.0	49.9	
リハビリテーション	18.5	1.6	9.4	34.7	23.1	5.2	16.1	12.6	
精神科専門療法	25.0	603.2	22.2	15.6	22.8	57.6	11.5	10.6	
処置	105.0	0.9	26.5	160.2	103.8	25.2	103.0	117.6	
手術	40.2	0.2	48.6	38.7	24.4	25.9	41.3	27.5	
麻酔	3.3	0.6	6.2	5.3	4.5	2.1	2.6	6.5	
放射線治療	6.1	-	18.5	0.1	-	-	6.6	0.0	
	1日当たり点数								
総数	802.6	720.5	1 009.3	691.9	633.4	453.7	827.2	541.6	
初診・再診	100.4	76.8	84.9	102.8	105.3	97.3	101.4	131.5	
指導管理等	41.5	16.2	28.1	58.5	58.5	114.7	37.9	83.0	
在宅医療	47.8	2.9	103.6	34.2	38.2	11.2	49.3	19.6	
検査	150.2	29.6	243.0	98.5	90.1	55.2	164.1	65.2	
画像診断	87.6	7.5	136.2	60.9	51.5	10.4	95.4	14.1	
投薬	232.6	296.3	268.6	195.7	182.4	102.8	240.1	130.0	
注射	37.0	8.0	55.8	32.8	31.1	17.1	37.9	21.8	
リハビリテーション	9.9	0.8	6.4	14.8	9.9	2.0	9.0	5.5	
精神科専門療法	13.3	281.6	15.1	6.6	9.7	22.3	6.4	4.6	
処置	55.9	0.4	18.0	68.2	44.3	9.8	57.5	51.4	
手術	21.4	0.1	33.0	16.5	10.4	10.0	23.0	12.0	
麻酔	1.8	0.3	4.2	2.2	1.9	0.8	1.5	2.8	
放射線治療	3.3	-	12.5	0.1	-	-	3.7	0.0	
	1件当たり日数								
総数	1.88	2.14	1.47	2.35	2.34	2.58	1.79	2.29	

注：病院の総数には、結核療養所を含む。

図6 入院外の病院-診療所・診療行為別1日当たり点数の構成割合

(平成12年6月審査分)



注：その他の行為は、「リハビリテーション」「精神科専門療法」「手術」「麻酔」及び「放射線治療」である。

4 傷病分類別にみた状況

(1) 入院における傷病分類別の1件当たり点数は、一般医療では「循環器系の疾患」43,460.7点
が最も高く、次いで「新生物」「神経系の疾患」、老人医療では「新生物」44,862.9点
が最も高く、次いで「血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害」「尿路器系の疾患」
の順となっている。

1日当たり点数は、一般医療、老人医療とも、「眼及び付属器の疾患」4,501.2点、4,318.5
点
が最も高く、次いで一般医療では「耳及び乳様突起の疾患」「新生物」、老人医療では「新生物」
「血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害」の順となっている。(表7、図7)

表7 傷病分類・入院－入院外・一般医療－老人医療別1件当たり点数、
1日当たり点数

(平成12年6月審査分)

傷病分類	入院		入院外	
	一般医療	老人医療	一般医療	老人医療
	1 件 当 た り 点 数			
総数	30 208.8	37 799.8	1 164.9	1 786.1
感染症及び寄生虫症	24 168.3	35 866.9	1 052.5	1 524.6
新生物	42 057.1	44 862.9	2 288.1	2 729.8
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	28 821.8	43 318.9	1 457.9	2 454.0
内分泌、栄養及び代謝疾患	28 117.0	31 185.6	1 631.4	1 947.3
精神及び行動の障害	27 414.4	29 347.9	1 346.1	1 385.4
神経系の疾患	37 479.2	34 932.3	1 137.8	1 661.8
眼及び付属器の疾患	32 127.8	32 294.6	705.6	812.9
耳及び乳様突起の疾患	22 927.5	25 361.9	890.5	1 206.4
循環器系の疾患	43 460.7	40 281.0	1 324.0	1 891.5
呼吸器系の疾患	20 438.1	34 991.3	824.9	1 961.6
消化器系の疾患	26 946.5	32 432.0	1 262.2	1 814.4
皮膚及び皮下組織の疾患	23 504.4	31 038.5	642.1	815.9
筋骨格系及び結合組織の疾患	32 616.5	34 982.6	1 136.5	1 774.3
尿路器系の疾患	29 920.0	42 064.4	3 070.3	5 137.8
妊娠、分娩及び産じょく	14 189.9	-	1 138.2	-
損傷、中毒及びその他の外因の影響	29 264.3	39 438.0	1 185.9	1 644.6
その他の傷病	21 430.7	41 425.1	1 070.9	1 181.8
	1 日 当 た り 点 数			
総数	2 094.4	1 948.5	602.5	659.4
感染症及び寄生虫症	2 345.1	2 061.1	552.1	550.7
新生物	3 117.6	2 730.0	1 224.9	1 233.9
血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	2 654.9	2 687.7	823.1	1 027.0
内分泌、栄養及び代謝疾患	2 065.5	1 742.8	890.8	837.5
精神及び行動の障害	985.8	1 037.1	649.4	598.0
神経系の疾患	1 562.8	1 572.7	621.8	615.4
眼及び付属器の疾患	4 501.2	4 318.5	532.2	546.5
耳及び乳様突起の疾患	3 181.8	1 683.9	374.9	374.7
循環器系の疾患	2 914.0	1 917.2	689.6	732.7
呼吸器系の疾患	2 616.9	2 068.1	466.0	706.3
消化器系の疾患	2 673.7	2 139.1	646.0	682.7
皮膚及び皮下組織の疾患	2 175.7	1 597.6	404.4	411.5
筋骨格系及び結合組織の疾患	2 142.5	1 616.1	381.8	371.9
尿路器系の疾患	2 990.5	2 498.3	1 386.8	1 787.9
妊娠、分娩及び産じょく	2 395.0	-	579.7	-
損傷、中毒及びその他の外因の影響	2 232.3	1 890.0	451.7	428.9
その他の傷病	2 740.7	2 550.2	684.0	597.7

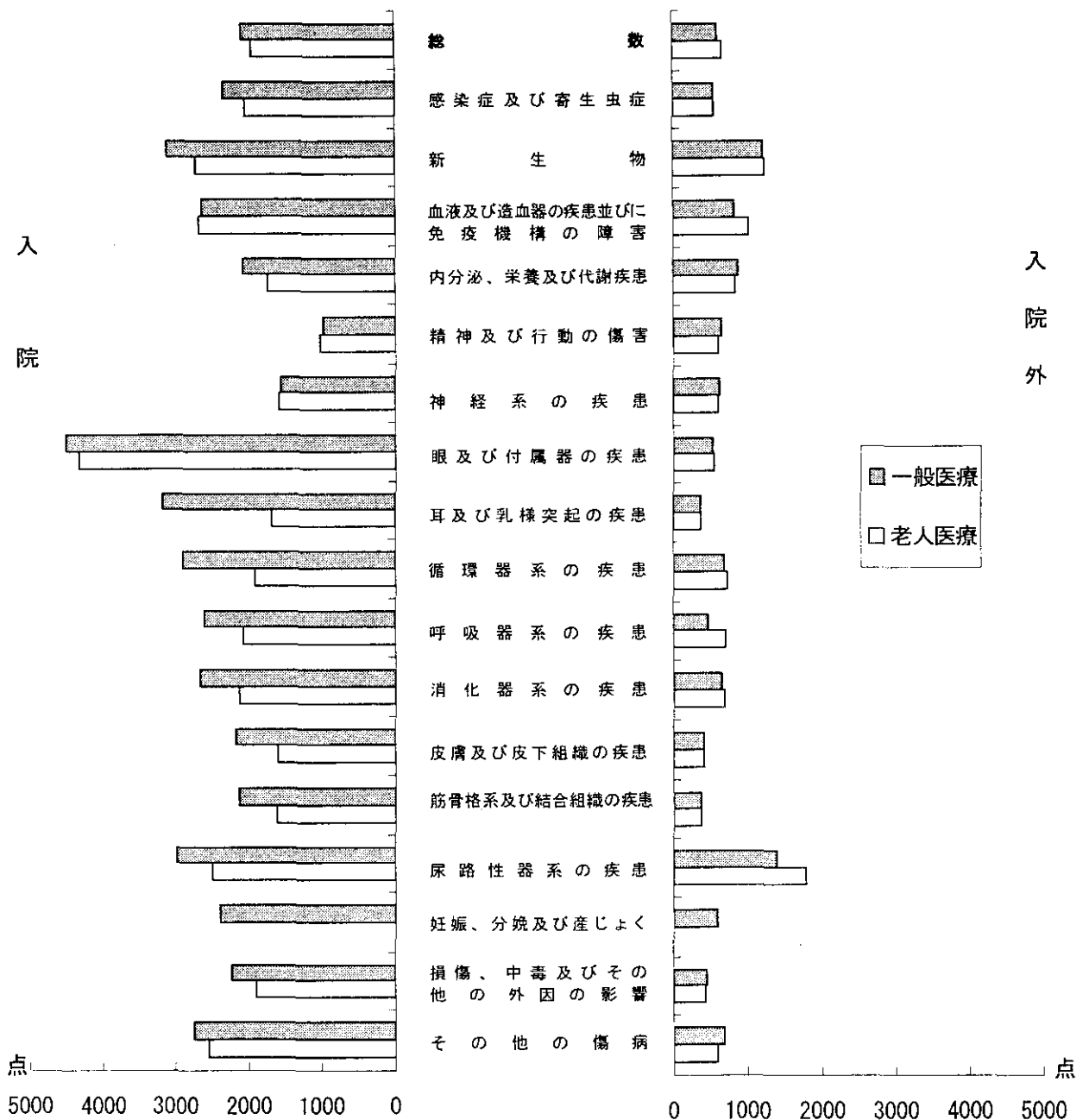
注：「その他の傷病」は、「周産期に発生した病態」「先天奇形、変形及び染色体異常」及び「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」である。

(2) 入院外における傷病分類別の1件当たり点数は、一般医療、老人医療とも、「尿路性器系の疾患」3,070.3点、5,137.8点が最も高く、次いで一般医療では「新生物」「内分泌、栄養及び代謝疾患」、老人医療では「新生物」「血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害」の順となっている。

1日当たり点数も、一般医療、老人医療とも、「尿路性器系の疾患」1,386.8点、1,787.9点が最も高く、次いで一般医療では「新生物」「内分泌、栄養及び代謝疾患」、老人医療では「新生物」「血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害」の順となっている。
(表7、図7)

図7 傷病分類・入院－入院外・一般医療－老人医療別1日当たり点数

(平成12年6月審査分)



注：「その他の傷病」は、「周産期に発生した病態」「先天奇形、変形及び染色体異常」及び「症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの」である。